



# 飛騨市の豊かな 自然資源を 未来につなげたい

風光明媚で、多様な樹種に恵まれた山々、豊かな水や花々で彩られる湿原、多様な生き物や植物が人々の暮らしに息づく里地里山など、私たちは豊かな自然に囲まれて暮らしています。

私たちにとって、当たり前の存在の自然ですが、実は多くの地域の方やボランティアの協力によって保護、保全されています。

しかし、少子高齢化など社会の変化や、気候変動の影響によって、そうした自然の保護には多くの課題が生じています。里山の手入れなどの担い手不足と、それともなう山林の荒廃、鳥獣害の深刻化、後継者となるはずだった若者の転出増加などに加え、維持管理にかかる費用の確保も課題となっています。

飛騨市では、一つひとつの自然資源の現状を把握する調査を行い、専門家や地元関係者の協力を得ながら、それぞれの問題に効果的な対策を講じています。

私たちの暮らしに恵みを与え、各種産業を支える役割も果たしている自然環境について、もう一度できることを考えてみませんか。



いけがはらしつげん

■池ヶ原湿原 (獣害対策 × ボランティア拡大)



池ヶ原湿原は、県の天然記念物に指定されています。約5haの湿原には初春、30～40万株ものミズバショウが一齐に咲き、秋には湿原の草紅葉やシラカンバの紅葉も楽しめます。木道が湿原の中に整備され、車いすを利用される方も安全に散策することができます。

しかし近年、イノシシやニホンジカによる食害が増えており、獣害からミズバショウを守るため、岐阜大学と連携し、監視カメラによる生態調査や、獣害用電気柵と撃退器の設置を行っています。

また、山岳メディア「YAMAP(ヤママップ)」と連携したヨシ刈りツアーを開催。さらに「ヒダスケ！」の制度を活用してボランティア活動の拡大も図り、多くの皆さんの協力を得ながら環境保全を進めています。

※池ヶ原湿原保全事業は、岐阜県「清流の国森林環境税」を活用しています



監視カメラで撮影されたニホンジカ



監視カメラ設置作業



ボランティア活動ヨシ刈りの様子

てんがいさん ふかどしつげん

■天蓋山・深洞湿原 (新登山道の整備 × ボランティアツアー・プレミアムツアー開催)



天蓋山は、北アルプスが一望できる素晴らしい眺望が人気の低山です。その魅力をさらに広く知っていただくため、山之村牧場から入る新たな登山道の整備を進めており、今夏に完成予定です。

また、「YAMAP」と連携し、登山道整備を体験できるツアーも開催し、汗を流す作業を通じて新たなファンの獲得にもつなげます。



夏はニコウキスゲがきれいです

深洞湿原は、亜高山帯の針葉樹の原生林がブナやミズナラの林よりも低いところにある「逆転現象」が見られる森で、針葉樹と広葉樹が混生する原生林です。

大変貴重で、許可を得ないと入れない湿原ですので、環境保全を図りながら、付加価値の高いプレミアムツアーを企画しており、その実施に向けた現地調査や魅力のブラッシュアップを進めています。

## 自然資源の保護や活用への取り組みや思いをうかがいました

飛騨の森ガイド協会 会長  
池ヶ原湿原自然保護センター 所長

いわさ かつみ  
**岩佐 勝美** さん



### ■飛騨市の自然の特徴は？

広葉樹が多く樹種も豊富で、生物多様性の宝庫。天生の森には素晴らしい原生林や湿原、白木峰にはさまざまな花の群生や池塘、ブナの森が見られ、眺望も素晴らしい。池ヶ原には他では見られない植生があり、広々とした湿原も癒され、まさに「メルヘンの世界」です。猪臥山、深洞湿原にもそれぞれ違う魅力があります。こうした多様性が特徴ではないでしょうか。

### ■今、どんな問題が起きていますか？

1つは、異常な気候変動。例えば、通常であれば雪の「布団」で地表付近が零度以下にならず、ミズバショウは守られながら冬を越せ、霜にもやられずにきれいな花を咲かせることができますが、昨シーズンのように雪が少ないと、きれいなミズバショウが見られない。イノシシ被害も早くから出てしまいます。

もう1つは、人が環境に与えた影響。森の手入れがされず、山に餌が増えると野生動物が増えすぎ、本来の生息場所を追いやられます。もともとこの辺りは、ニホンジカの生息に適していないのですが、富山県や美濃方面からこちらへ追いやられ、適応して越冬できるようになりました。ここ1、2年の間に急速に増えています。

このように生態系のバランスが崩れているのが大きな問題で、今後人がどう関わっていくかが重要な課題です。

### ■今後取り組んでいきたいことは？

奥山だけでなく、人の営みで作られた里地・里山の中で生きてきた動植物もたくさんいます。そうした生態系が豊かに保たれることも大切。そのためには、そこに人が住んで地域の自然を守り、その自然を活用して暮らして

いける仕組みが重要。自然を守っていくことと、それを活かしていくことは両輪で必要なんですね。

ガイドを希望する若い人は増えていますが、それで食べていくのはまだ難しい。ガイドとして自然資源を活用し、経済が回ることで、さらに保全が進むような仕組みをつくりたい。そのためにも、自然資源を守っていくことが必要だと考えながら活動しています。

NPO 法人飛騨市・白川郷自然案内人協会 事務局・ガイド

よしざね ようこ  
**吉真 陽子** さん



### ■飛騨市の自然の魅力は？

表情が豊か、食文化も豊か、素晴らしい資源です。

### ■ガイドで心がけているのは？

常に「関心を持ってもらえる話題」を模索しながら、気さくに話ができる関係づくりを大切に、楽しい時間を過ごしていただくことを心がけています。

また、自分が飛騨の森に出会って受けた時の衝撃的な感動と、豊かな自然と飛騨の暮らしを、お客様にもお伝えできるといいですね。

地元ならではの話も交えながら、森の魅力と、この自然を守り繋げていくことの大切さも気づいていただくと嬉しいです。

### ■身近にできる自然保護の活動はありますか？

天生の森、池ヶ原湿原、深洞湿原では7月中旬～8月上旬にオオバコ採りやヨシ刈りのボランティアを市の回覧で募集しています。保護活動の後には自然を学ぶガイド散策会も開催しています。

豊かな自然の中で暮らしていることに気づき、誇りに思っただけだと嬉しいです。ガイドとしてそのお手伝いをできればと考えています。

市では、多くの方のご協力を得て、自然保護に取り組んでいます。ヨシ刈りやオオバコ除去などのボランティア活動の他、登山道整備や電柵の設置・撤去などを手伝っていただく「森スケ」もスタートします。詳細は、市ホームページ(右コード)をご覧ください。



また、NPO 法人飛騨市・白川郷自然案内人協会では、飛騨の食文化や自然に親しむツアーやイベントを、年間を通じて開催しています。またツアーやイベントとは別に個人やグループでガイドをご利用いただくこともできます。市ホームページ(右コード)で紹介しています。



問 まちづくり観光課 ☎0577-73-7463